

第1回伊勢市特別職報酬等審議会 議事概要

1 日時

平成31年1月21日（月）10時15分～11時35分

2 会場

伊勢市役所 東館4階 4-3会議室

3 出席委員（50音順）

岩崎 良文委員、加藤 徹也委員、竜田 和代委員、東 剛寛委員、
前田 政吉委員、山本 誠委員

4 欠席委員

伊藤 由佳委員

5 出席職員

市長（審議案件の当事者のため、諮問後に退席）、総務部長、職員課長、
職員課副参事、職員課給与厚生係長、職員課給与厚生係主事、財政課長

6 議題

市長、副市長及び教育長の給料の額並びに市議会議員の報酬の額について

7 会議内容

(1) 諮問

市長が会長に対して諮問

(2) 会長の互選

事務局に一任されたため、岩崎委員を会長とする事務局案を提示し、
全会一致で了承された。

(3) 会長職務代理者の指名

会長が前田委員を指名

(4) 資料説明

以下の資料について、事務局が説明した。

ア 職員課

(ア) 伊勢市特別職の報酬等の改定状況

(イ) 県下各市の特別職の状況（給料月額・報酬月額）

- (ウ) 県下各市の特別職の状況（人口等・期末手当・年収）
- (エ) 県下各市の特別職の報酬月額等の平成 23 年度との比較
- (オ) 一般職の給料の状況（平成 24 年度～平成 30 年度）
- (カ) 平成 24 年度以降の人事院勧告 給与勧告の骨子
- (キ) 平成 23 年度の答申書

説明概要 平成 23 年度の審議会では、社会経済情勢等から、官民較差程度の引下げの答申がなされた。

その後、県内各市の特別職はほぼ据置、一般職はベースアップはあるものの、給与水準の見直しにより平成 24 年度当時より引下げとなっている。

イ 財政課

- (ア) 平成 29 年度決算状況
- (イ) 決算状況の経年変化
- (ウ) 各指標等の経年変化
- (エ) 県内他市との比較

説明概要 伊勢市の財政状況は、比較的借金が多いものの、貯金も多いため、直ちに持続可能な財政を脅かすような状態ではない。

しかしながら、少子高齢化や税収の落ち込みに伴う財政需要が見込まれるため、今後も緊縮的な財政に努め、持続可能な財政運営をしていきたいと考えている。

(5) 審議（概要）

ア 会長 市長の諮問内容は、市長、副市長及び教育長の給料並びに議員の報酬の額について、その適正をみなさんにおはかりするというもの。

前回の平成 24 年 2 月には、特別職の職務の内容及び職責、それから社会経済情勢、他市の特別職との比較の状況、一般職員の給与改定の状況等を踏まえ、審議した結果、答申を出しているので、本審議会もその方向で進めさせていただきたい。

イ 委員の意見

- ・ 一般職の給料は、ベアはあったのか。

- ・ 市長以下議員まで、個々の金額がどの程度という話になると、機能や役割が正直見えないところがある。そういうところの議論は、どこかでされているのか？

我々が答申を出す上で、前回の審議会の資料の提供もしてもらった方がよいのでは。そういう意見も聞いた上で、結論に導きたいというのものもある。

- ・ 前回の答申にも「議会の議員の報酬及び市長、副市長の適正な額の審議に当たっては、まず特別職がそれぞれ職務を遂行するにふさわしい報酬及び給与でなければならない」という基本的な考えがある。
- ・ 当時と何か機能的、役割的に変更があったのかなかったのか。もし変更があるなら、それを踏まえて、やっぱり直さなければならないのでは、という意見というか、答申を出したいところがある。
- ・ 平成 23 年度当時と比べて、議員数も減らして、改善も図られて、それだけ議会改革も継続して進めて、このあともずっと継続して…という話なので、総枠の流れの中で、だから、上げるとか下げるとかいう答えを出したいと。
- ・ 平成 17 年度から 1 年おきに審議会を開催してきた。それが平成 24 年度から開催せず、また、今回開催する目的を教えてください。
- ・ 平成 23 年度は、失業やリストラが多く、給料も少なくなっているという状況の中で、人事院勧告で職員の給料を下げることになったため、伊勢市の特別職もどうするかと招集された。それで、みんなが平均的な収入が下がっているときだから下げて当然という意見でまとまってこの答申書が出された。それから徐々に良くなってきているので考えるべきかと思ったが、その間にも、ちゃんと上がっているので納得かなと思いつながら今日は出席した。
- ・ 当然、特別職の位置付けというか、役割が、平成 21 年度当時、23 年度当時とどう変わったのかについては、ストーリーとして押さえていく必要があるかと思うが、基本的には納得性であったり、継続性がないとダメだと思うので、平成 21 年度、あるいは 23 年度に改定が行われたのは、何をベースにして、どういう根拠でこの比率が出て、どう

いうふうに決定したというプロセスを明らかにして、それをベースにこの30年度はどう考えていくかということをお話し合っては、と思う。

- ・ 私も、例えば、経済だ、物価だ、公務員の給料だと言っても、極端な話、そんなに大差ないと思う、ここ数年で。議論しても数万円動くか動かないかというところなので、その職責、重責、責務、またハードワークなのかというところは、この審議会ではなかなか吟味しにくいかも分からないが、そういうところも考慮した上での数字というプロセスを作っていくこと、またみなさんから意見を頂くことが私は非常にいいことだと思う。それが結果数字に反映されるかどうかは難しいと思う。企業でもどこでも人事評価で一番難しい問題だ。ただ、今のような広がりをもった審議会になっていけば、ありがたいと思う。
- ・ 今回の諮問については、それなりに市長を評価しなければと思う。
- ・ 毎年開催した方がいいのだろうけど。副申に付けてもいい。

(6) 第2回伊勢市特別職報酬等審議会の開催について

追加資料等を踏まえて、平成31年1月31日（木）に開催することとした。